

高温ストレス軽減資材

成分:焼成力オリン

バラカ

BA RA KA

～植物に‘ちょうどいい’光を～

《 高温期前～高温期でのオススメ使用方法 》

作物	処理時期	処理濃度	処理方法
リンゴ 梨 等	定期散布	500～1000倍	散布処理 (農薬混用可能)
	収穫14日～10日前 ※汚れの懸念がある時期	1000倍	散布処理 (農薬混用可能)

※収穫10日前以内でのバラカ散布は汚れの懸念があるため十分留意する。



←バラカ散布後の様子

焼成力オリンの遮光効果によって
過剰な日光をカット！
微粒子で植物体の表面を物理的に
保護し高温ストレスを軽減します！



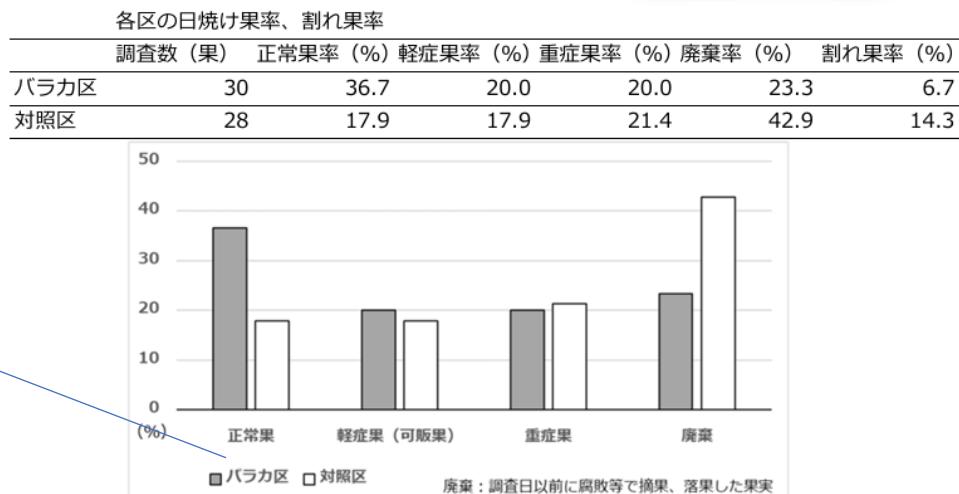
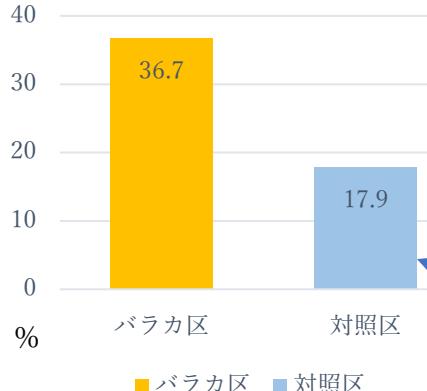
バラカ散布(500倍) 品種:つがる
散布日:8月20日 撮影日:8月22日

■2025年実施 バラカ散布試験事例

●千葉県八千代市梨業組合研究部試験(千葉農業事務所 監修) 品種:新高
※6月中旬~7月末 バラカ 500倍で農薬混用 4回散布 結果



収穫時の正常果率



9月3日撮影 試験実施圃場画像



バラカ区の様子(9/3)



対照区の様子(9/3)

○バラカ使用で高温被害果が少なくなり廃棄果が少なくなる傾向が見られた。

■まとめ

バラカ複数回使用で暑さ対策の効果、結果が確認されております。
資材の性質上、付着して効果を発するものになりますのでバラカ
複数回散布や固着剤(アビオン-E)などの併用で、より効果を安定
させることができます。
是非、近年の暑さ対策の一つとして、ご検討ください。



アビオン株式会社

果樹-販-27(SH)